

本山町教育委員会 議事録
平成30年12月定例教育委員会
場所：プラチナセンター研修室

(1) 開会及ぶ閉会に関する事項

開会 平成30年12月7日(金) 16時30分

閉会 平成30年12月7日(金) 17時25分

(2) 出席者の氏名

出席者	教育長	高橋	清人
	教育委員	小野	雄基
	教育委員	溝渕	有香
	教育委員	前田	侯
	教育委員	山内	美香

(3) 議場に出席した者の氏名

教育次長	右城	有紀
研修指導員	鈴木	薫子

(4) 議事・報告

教育長 (高橋教育長挨拶)

ただ今より、定例会を開会します。(省略)

本山町教育委員会会議規則第6条の規定により半数以上の参加者で会議が成立します。本日は全員の委員が参加していますので、本日の会議が成立していることを報告します。

続いて、今日の議事録署名人を選任します。溝渕委員、前田委員にお願いします。両人は同意願います。それでは続いて議事に入ります。

議事内容

1. 平成30年度市町村教育委員会研究協議会報告について

教育長 11/21、11/22 大阪で開催された市町村教育委員会研究協議会(第2ブロック)に、小野委員、前田委員、鈴木研修指導員、教育長で参加し研修を深めてきた。

1日目は、「初等中等教育をめぐる最近の動向」と題し、文部科学省からの新学習指導要領、学校における働き方改革、幼児教育の無償化の講話。

働き方改革では、児童生徒に接する時間を十分に確保し、教師の日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、教師の人間性を高め、児童生徒に真に必要な総合的な指導を、持続的に行うことが出来る状況をつくらなければならない。

次に「次世代の学校づくりにつながる業務改善のあり方」と題し、鳴門教育大学、久我教授より、効果のある指導の組織的展開のために、小さなエネルギーで大きな成果を生み出す効果ある学校づくりや、子どもの頑張り、優しさを発揮させるためには、子ども自身が、自分に対する信頼が周りからあることを感じられることが大切。そのためには、保護者からの信頼・愛情、周りに人から認められていると実感すること(勇気付け)や、ボイスシャワー(おはよう、元気などの声掛け)を。自分に対する信頼が出来ると、自分に対する不信や不安を起因とする不登校、いじめがなくなり、自立と協働の力が伸びる。→グローバル社会を生き抜く力に・・・

2日目は、分科会。第2分科会「働き方改革の取組」大阪守口市の取組では、

校務パソコン、校務支援システム、ノー残業ディ、ノークラブディ、夏期休業中の学校閉庁日、勤務時間の管理など、また教育委員会としても電話対応時間 9時から 18 時、PC 使用時間 8 時から 18 時など取り組んでいる。

岡山笠岡市の取組では、働き方は「野球型」から「サッカー型」へ目標の設定、20 時まで退校。週 1 回は 18 時まで退校。時間外勤務時間の限度時間設定など。それを実現するため、働き方推進委員会、かえる会議、かえるボード、職員室ゾーン（仕事・相談・休憩）設定などを実施。

小野委員 第 1 分科会「生徒指導体制の在り方について」大分市の取組では、不登校児童生徒の割合が全国平均、大分県平均よりも高い状況にあり、SSW の配置を進めてきた。H25.26 は 3 名、H27 は 5 名、H28 は 15 名、H29 は 20 名、H30 は 22 名。予算については、総合教育会議において市長に現状説明とお願いをし、決定した。会場からの質問では、SSW が学校に入ることによって、問題が浮き彫りされ、先生方が益々忙しくなるのではないかとの意見あり。実際に先生方の家庭訪問の数が増えたこともあったが、トータル的に見て不登校の児童生徒の数が減ってきている。

前田委員 第 3 分科会「家庭教育支援の取組について」和歌山県橋本市と大阪泉大津市の実践が報告された。両取組とも家庭訪問するチームが組織化されている。

学校でも行政でもない人で構成。民生委員、元教員、保育士、PTA 役員、市民活動団体メンバーなど。保護者も受け入れやすいのでは・・・

泉大津市では家庭訪問するチームの方は、日本プロカウンセリング協会 1 級心理カウンセラーの資格を有している。

家庭訪問に行って、拒否されるとどうすることも出来ない状況もある。

家庭訪問をしていく中で、保護者が子育てに自信を持てるようになる。子どもものことを考える余裕が生まれる。

2. 平成 31 年度教育版地域アクションプラン（案）について

右城次長 ①探求的な授業づくりのための学校サポート事業では、言語活動推進支援員の配置と相談サロン月 1 回開催。また子ども手帳や ICT を有効活用した授業改善、講師招聘研修、先進校視察研修など。

②グローバル化対応教育推進サポート事業では、外国語に慣れ親しむための環境づくり、外国語基礎力の定着、保小中連携した外国語教育の推進を予定し、詳細な事業計画を策定している。

小野委員 事業成果の目標数値の設定方法は。

鈴木指導員 昨年度の結果を踏まえ、努力すればいける数値目標にしている。

3. その他

①平成 30 年度高知県新任市町村教育委員・教育長合同研修会について

教育長 平成 31 年 1 月 11 日開催の知県新任市町村教育委員・教育長合同研修会について説明と参加要請。

各委員 小野委員、山内委員参加。

教育長 私も参加。計 3 名参加で報告する。

②教育委員会忘年会 12 月 17 日 参加要請。また連絡を。

③12 月議会の教育関係一般質問について

教育長 岩本議員より、嶺北中学校への野球部創部と嶺北中学校体育館の用地についての質問。

野球部については、現状等考えた場合難しい。拠点校の運動部への参加が出来ないか協議をしていく。体育館については、嶺北高校の敷地内がベストと考える。

上地議員は、総合教育会議の状況と ICT の整備状況・活用についての質問。総合教育会議については、開催状況、内容等、ICT については、整備状況と今後力を注いでいくことを答える。

河邑議員は、保育料の無償化。現在分かっている範囲で答弁。まだ詳細が決まっていない状況。

大石議員は、先生方の働き方改革と来年度の給食費無償化。働き方改革については、本町の状況と現在取り組んでいることについて答弁。給食費については、これから制度設計を行う。

中山議員は、放課後児童クラブの施設とさくら図書室のあり方。

放課後児童クラブについては、耐震性もなく早急に対応する。さくら図書室については、狭隘であるため早急に計画を定める必要がある。

上田議員は、歴史文化基本構想の策定。この構想については、規模も大きく四国ないでは、策定自治体がない。難しいと考える。

溝渕委員
教育長 給食費の無償化について、土佐町等近隣の状況は
嶺北地域では、大川村、大豊町が実施。大豊町は給食費に見合う分を商工会の商品券で各家庭に配布。土佐町と本町が来年度より実施予定。予算としては 11,000 千円必要。全国ではまだ 5 % に満たない自治体で無償化を実施。また、無償化の自治体は 3 万人以下の自治体である。

小野委員
学校給食については、土佐町、本山町は共同で提供しているので、同じ方向性がいいと考える。

教育長 広域行政で取り組んでいるが、町村の判断で違うことは可能である。しかし首長として、嶺北全体が無償化への動きとなっている状況も踏まえ判断したことである。

教育長 その他、何かありませんか。無いようですので、以上をもって本日の教育委員会を閉会します。

次回の委員会は、1 月 17 日 16 時 00 分からとします。

ご協力ありがとうございました。